

JFE STEEL

その意志を受け継ぐ者へ

企業の技術力は、そこで働く人々の高い志と情熱に支えられています。

誕生以来、多くの若手世代が入社しているJFE スチールでは、双方向のコミュニケーションをより活性化させ、そのDNAを人から人へ確実に受け継いでいます。



製鋼プロセスにおいて溶けた鉄の成分調整を行う鍋の内側には、高温に耐えられるようレンガが敷き詰められています。煌煌と光る鍋の内側を目視し、レンガに劣化や亀裂がないか、瞬時に判断する必要があります。このような高い技能をベテランから若手に着実に伝承しています。

JFE STEEL

ここから始まる新たな物語

JFE スチールでは、第5次中期に主要な上工程の設備更新・能力増強が完了します。
国内外で鉄鋼事業の環境が大きく変化する中、新たな時代に向け、
世界トップレベルの生産拠点のさらなる安定化とコスト削減を追求していきます。

JFE スチール会社紹介映像を全面リニューアル

当社HPから動画を視聴できます。
<http://www.jfe-steel.co.jp/movie>



YouTubeでも
視聴できます



東北復興の架け橋

宮城県気仙沼市の市街地と離島の大島を結ぶ、東日本最大級のアーチ橋「大島大橋」の一括架設が行われました。東北初の離島架橋は、本土との交通手段が船舶のみであった地元住民の方々の悲願であり、復興のシンボルです。



再生可能エネルギーが未来を変える

大分県佐伯市のセメント工場遊休地に建設したバイオマス発電所が、2016年11月に稼働を開始しました。出力は国内最大級の5万kW、パームヤシ殻が主燃料です。JFE エンジニアリングの再生可能エネルギー技術が、低炭素社会の実現に貢献します。



大阪港を渡る600トンの巨大栈橋ジャケット

津製作所で製作された大型栈橋ジャケットが大阪港に設置されました。

大阪港は「国際コンテナ戦略港湾」であり、コンテナ船の大型化に対応するコンテナターミナルの拡充を図っています。JFE エンジニアリングは各地の港湾の国際競争力強化に貢献します。



JFE SHOJI TRADE

日本と世界をつなぐ、 ナショナルスタッフの力

経済成長とともに、飛躍的に鋼材需要が伸長するアセアン地域。
そのビジネスの最前線に立つJFE 商事グループは、スピーディーにお客様のニーズに応え
タイムリーに鋼材をお届けするサプライチェーンを構築しています。
そして、そのビジネスを支えるのが現地で活躍するナショナルスタッフ。
彼らの力こそが、世界でビジネスを切り拓くJFE 商事グループの原動力です。



次世代型省エネ型超大型原油タンカー (VLCC) 1番船引き渡し



ジャパン マリンユナイテッド(JMU)は、2016年6月に有明事業所で建造していた、海外船主向けの次世代省エネ型超大型原油タンカーの1番船を引き渡しました。

本船は、次世代省エネ型タンカー“G-Series VLCC”の記念すべき1番船です。スポットトレード向け最適船型として累計35隻以上の建造実績を誇る2百万バレル型VLCCの系譜を受け継ぎ、最新の造船基準を適用しつつ、燃費性能の大幅向上を目指して開発しました。VLCCとしてはコンパクトな船型ながら、浅喫水時の載貨重量最大化を追求し、マラッカ海峡通航を含む東西トレードに対応できるフレキシビリティを持っています。

JMU独自の技術である、最新鋭の省エネ装置(ダクト、フィン)を付加するとともに、実航海性能の向上を目的とした船首形状を採用しています。また、最新低燃費のMAN-G型エンジンと高効率の大直径プロペラの採用により、従来船を大幅に上回る性能を達成しました。

なお、バラスト水処理装置(BWMS)を標準装備し、環境にも配慮した仕様となっています。

【本船概要】

主要寸法:全長330.0m × 幅60.00m × 深さ29.35m × 喫水21.58m
載貨重量:302,652トン
総トン数:156,501
航海速度:15.8ノット